

栗原の稲作通信

令和元年第2号 令和元年6月11日発行

宮城県栗原農業改良普及センター

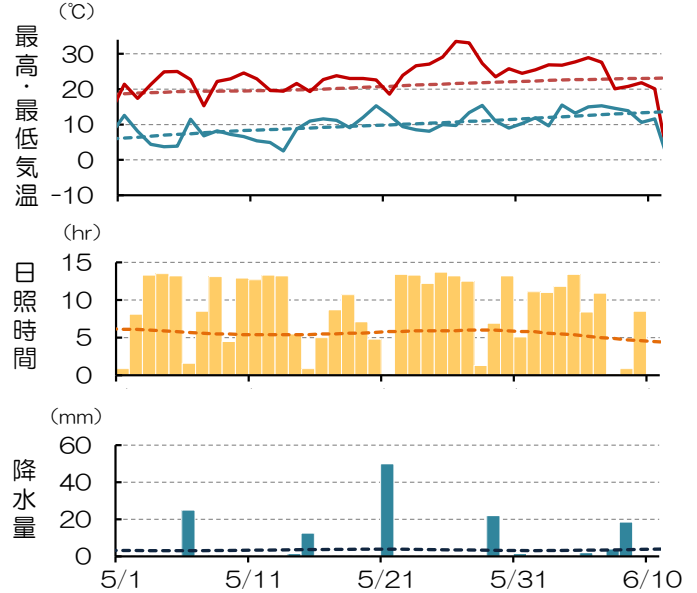
宮城県米づくり推進栗原地方本部

電話番号 0228-22-9437

5月の高温多照により茎数が多い傾向です / いもち病の原因となる残苗を処分しましょう

気象経過

- 5月以降、高温多照傾向で推移していましたが、6/7に東北南部が梅雨入りし(平年より5日早い)、その後は曇りや雨の日が多く、気温は平年並~やや低く推移しています。



気象経過 (アメダス築館) *点線は平年値

東北地方1か月予報 (東北太平洋側)

予報期間: 6月8日~7月7日

令和元年6月6日仙台管区气象台発表抜粋

予想される向こう1か月の天候

平年比で曇りや雨の日が多い見込み

平均気温: 平年並の確率40%

日照時間: 平年並または少ない確率ともに40%

降水量: 平年より多い確率40%

生育経過 (6月10日現在)

■生育調査ほ (移植)

- 平年より田植日が大きく遅れた「つや姫」ほ場を除いて、茎数が平年より多くなっています。

生育調査ほ調査結果 (6月10日現在)

品 種	地 区	田植日			草丈(cm)			茎数(本/m ²)			葉数(枚)			葉色(GM値)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
ひとめぼれ	築館 太田	5/4	1日早	1日早	37	104	109	419	104	133	8.6	-0.1	0.6	42.8	-2.2	0.8
ひとめぼれ	若柳 大林	5/22	2日遅	4日遅	27	92	91	270	88	110	7.0	-0.3	0.0	38.4	-2.5	-0.7
ひとめぼれ	一迫 中屋敷	5/7	1日早	2日早	28	99	99	292	114	134	7.4	-0.3	0.0	37.7	-3.2	-1.3
ひとめぼれ	平均	5/11	同日	同日	31	99	100	327	102	126	7.7	-0.2	0.2	39.6	-2.7	-0.4
つや姫	築館 留場	5/23	10日遅	6日遅	32	104	107	133	67	96	6.1	-1.4	-0.5	34.8	-10.7	-1.6
だて正夢	若柳 川南	5/11	2日早	-	33	89	-	343	119	-	7.6	0.3	-	42.1	-0.6	-
萌えみのり	金成 新桜町	5/10	1日早	3日早	31	97	106	212	100	162	6.9	-0.8	-0.1	46.9	0.1	5.3

注) 平年値は過去5年平均値(「萌えみのり」のみ過去4年平均値)とする

■直播展示ほ

- 前年より播種日が遅いので、前年より生育量は少ないですが、生育は良好です。

直播展示ほ調査結果 (6月10日現在) *べんもり湛水直播 (点播)

品 種	地 区	播種日		草丈(cm)		茎数(本/m ²)		葉数(枚)	
		本年	前年差	本年	前年比 (%)	本年	前年比 (%)	本年	前年差
萌えみのり	志波姫北伊豆野	5月13日	8日遅	20	76	188	89	4.2	-0.9

今後の管理

■水管理

- ・中干しまでは間断かん水が基本ですが、移植が遅い場合や直播栽培などの茎数が少ないほ場では、浅水管理（水深2～3cm）により分けつの発生を促しましょう。
- ・中干しは、有効茎数が確保されたら行いましょう。
例年より茎数の多いほ場が多いと予想されますので、ほ場で茎数を数えて、適期に中干しを行いましょう。
- ・有機物を多用している場合は、硫化水素などのイネに有害なガスが発生しやすいので、溝きりや落水によりガス抜きを行いましょう。

有効茎数

ひとめぼれ	410～460 本/m ²
ササニシキ	480～510 本/m ²
つや姫	400～440 本/m ²
だて正夢	350～400 本/m ²

★★★だて正夢栽培のツボ★★★

だて正夢は、分けつしにくく穂数が少なくなりやすい特徴があります。ほ場で茎数を確認し、幼穂形成期に茎数が390～460本/m²になるように、中干し等の水管理を行いましょう。

■病害虫防除

▷葉いもち

- ・残苗はいもち病の発生源となりますので、速やかに処分しましょう。
- ・箱施用剤による予防防除を行っていない場合は、各種水面施用剤を防除適期に散布しましょう。

◆◆◆萌えみのりのいもち病対策◆◆◆

萌えみのりのいもち病抵抗性はひとめぼれ並ですが、多肥栽培により葉色が濃く推移しやすいので、ひとめぼれよりいもち病にかかりやすくなります。

田植え時に箱施用剤による予防防除を行っていないほ場では、本田で予防防除を実施しましょう。

▷斑点米カメムシ類

- ・畦畔や農道、雑草地、休耕田等のイネ科雑草は、斑点米カメムシ類の増殖源となります。計画的な草刈りを行い、カメムシ類の増殖を抑えましょう。

*管内ではアカスジカスミカメの越冬世代の大半は6月中旬までに成虫となり、水田周辺のイネ科雑草に定着するとみられます。

- ・ノビエ、イヌホタルイ、シズイなどの雑草により、斑点米の原因となるアカスジカスミカメが水田内で増殖して被害が助長されます。残草が目立つ場合は、中期・後期除草剤等により追加防除を実施しましょう。

*JA栗っこ環境保全米では初中期剤及び中・後期剤は使用できません。

*JA栗っこぼっちゃり米(マニュアル米)では中・後期剤は使用できますが、剤の指定がありますので、JAに御確認願います。

.....
農薬危害防止運動実施中 6月1日～8月31日まで

農薬の使用に当たっては、必ずラベルに記載された適用病害虫、使用方法、最終有効年限などを確認して、定められた方法を厳守しましょう。

最新の農薬登録情報は、(独)農新水産消費安全技術センターのホームページで確認することができます。

<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vtllm000.html>
.....